

焼津未来創出プロジェクト(創業等支援制度構築)事業

<課題> 雇用の場の創出及び拡大

- 首都圏の大学に進学している若者が、そのまま都市圏で就職している。
- 水産業・水産加工業を主産業として発展してきたが、正規採用が少ない。

<事業目的>

関係団体、金融機関と行政が連携し、真に必要な創業等の支援制度の構築を行い、創業と市内企業の新たな事業展開の促進及び若年層の雇用確保につなげる。

<検討組織>

市、焼津商工会議所、大井川商工会、焼津信用金庫、静岡銀行の5つの機関とアドバイザー((株)船井総合研究所)など10名で構成されるプロジェクトチームを設置。(「焼津未来創生総合戦略実務者連絡会」内の組織)

	課題	方針	事業案 (H29.7月を目標に具体策を協議)
市役所・会議所など	<p>① 情報共有の仕組みの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談者の情報が統合されておらず、重複が多い。 それぞれの支援機関で、様々な施策が行われているが連携がとれていない。 <p>② 経営能力向上のための施策の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画や構想で創業レベルに達しない相談が多い。 <p>③ 創業、新規事業を活性化させる施策の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元企業のICT利活用は十分ではない。 支援機関と企業が一体となり産業振興に向かう体制が十分でない。 経営者・創業希望者・学生などの交流機会が少ない。 	<p>I 創業や新規事業を生むための交流機会を創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援機関のトップ(市長や商工会議所会頭等)と意欲的な経済人が話し合う場を設置し、これからの焼津の産業振興策、5年後、10年後の焼津のイメージを共有する。 創業、新規事業の双方において、情報、相談相手、人材、販路の不足が指摘されている。経営者や創業者等、当事者同士での交流を促進させる必要がある。 	<p>1 市長と意欲的な経済人が産業振興について語り合う場の設置</p> <p>2 既存のカフェや飲食店等を活用したビジネスの語り場の設置</p> <p>3 各支援機関の情報を一元管理・共有する仕組みの構築</p>
創業希望者・創業者	<p>④ 創業のための物理的スペースの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業希望者向けに斡旋するオフィスがない。 創業者が利用できるコワーキングスペースがない。 <p>⑤ 支援制度の低い利用度</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知度がある層でも制度利用は進んでいない。 <p>⑥ 事業拡大意欲の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業希望者が想定している事業規模が小さい。 	<p>II 支援機関の情報発信や施策の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業、新規事業の支援を多くの支援機関が行っているものの、施策や相談者の情報を共有する仕組みが不足している。 今後は、情報共有に向けての環境整備を進め、支援機関の機能を集積した「産業振興センター」的な体制を構築する必要がある。 	<p>4 ビジネス活性化に直結するITインフラの整備、IT活用教育、情報セキュリティー・モラル教育の実施</p> <p>5 創業希望者、新規事業を検討する企業のためのコワーキングスペースの提供</p> <p>6 創業・就業・新規事業支援のための拠点(ワストップフロア)の開設</p>
市内企業	<p>⑦ 新規事業を行うための情報不足</p> <ul style="list-style-type: none"> どの事業分野に進出すべきかを検討するにあたり情報が不足している。 <p>⑧ 新規事業に必要なリソース不足(人・販路)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業を行う上で、人材、販路の開拓に不安を感じている。 <p>⑨ 最先端のビジネストrendと出会う機会の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の経営に満足しているため、最新のビジネストrendやICT技術への関心が高くない。 	<p>III 市全体の産業活性化への機運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業経営者、創業者、創業希望者、UIターン希望者、学生等幅広い層が参加するイベントを開催し、「実際に焼津に来た」「焼津の人と話した」という実体験を提供する。 焼津市全体で産業への興味・関心を喚起するためには、創業・新規事業を応援する情報媒体が必要となる。 	<p>7 地元企業、創業者、創業希望者、UIターン希望者、学生が交流するマッチングイベント開催</p> <p>8 焼津で働く・働きたい人向けの産業メディア(Web・新聞)の発行</p>